

県内経済の基調判断

2024年3月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

概況

生産は弱含みの動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年1月	2月	3月
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (下方修正)
生産	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	このところ反動などから減少している	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	総じて緩やかに持ち直している	総じて緩やかに持ち直している	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年4~6月	7~9月	10~12月
企業景況感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77BI

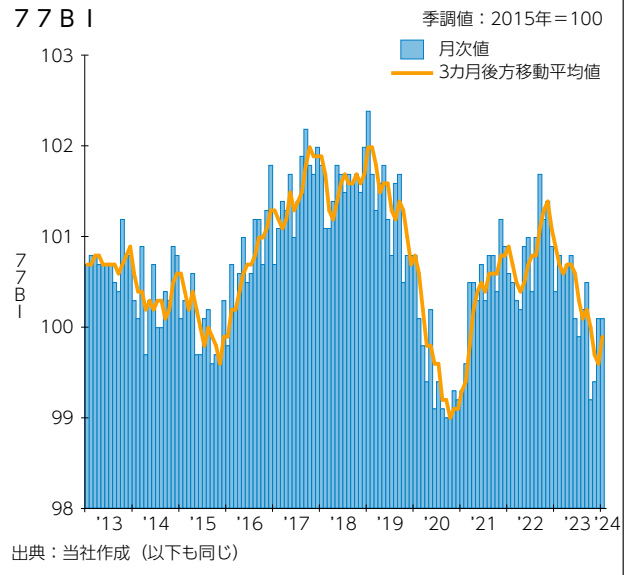
77BI (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

1月の77BI (暫定値)は、前月比横ばいの100.1となった。

採用指標別にみると、有効求人倍率は前月比上昇し、宮城県消費動向指数、建築物着工床面積は前月比低下した。また、12月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値 (3カ月後方) は、前月比0.3ポイント上昇の99.9となった。

77BI



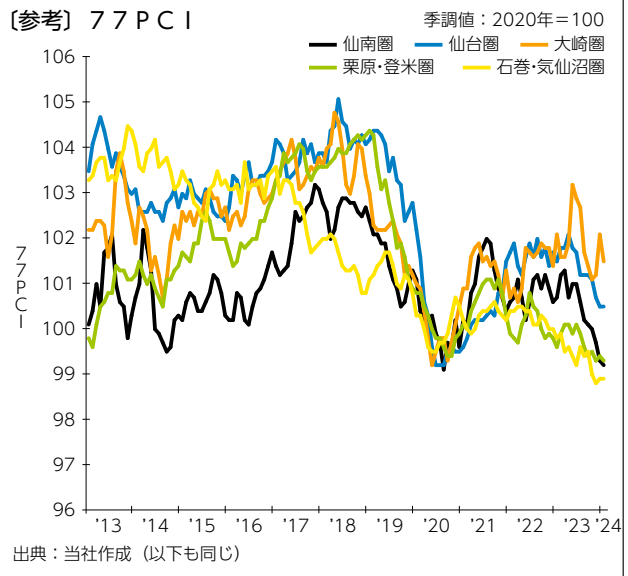
77BI (季節調整値、2015年=100)

	2023年11月	12月	2024年1月
BI値	99.4	100.1	100.1
鉱工業生産指数	89.7	99.6	99.6
宮城県消費動向指数	100.8	106.3	106.0
建築物着工床面積	44.1	58.9	53.2
有効求人倍率	98.8	97.3	99.5

[参考] 77PCI (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2023年11月	12月	2024年1月
仙南圏	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1
仙台圏	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.04
大崎圏	0.1	0.9	▲ 0.6
栗原・登米圏	▲ 0.3	0.1	▲ 0.2
石巻・気仙沼圏	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1

[参考] 77PCI



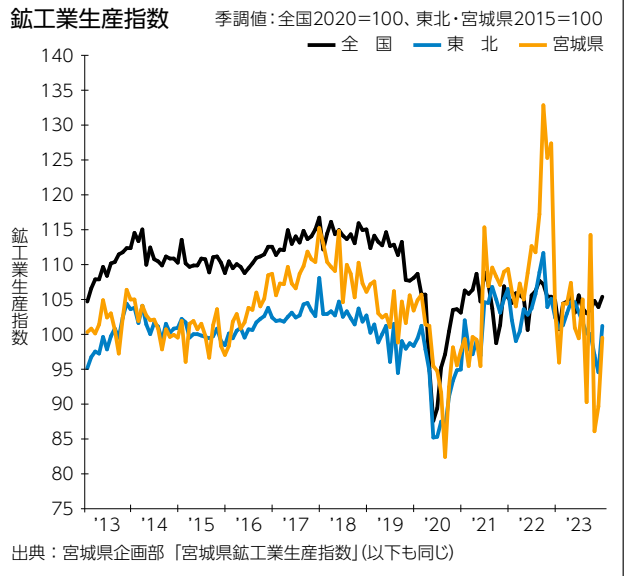
生産動向

鉱工業生産指数は、弱含みの動きとなっている。

12月の鉱工業生産指数は、前月比11.0%上昇の99.6となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、前月に引続き前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、電子部品・デバイス工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比5.5%の低下となり、8カ月連続して前年を下回っている。

鉱工業生産指数

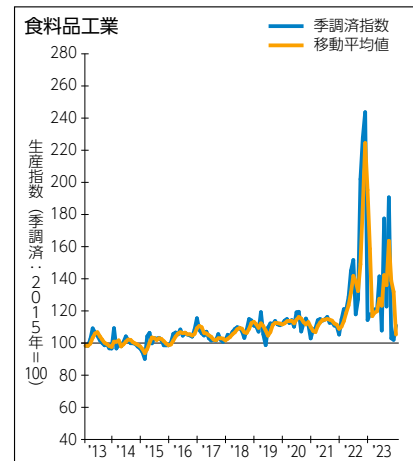
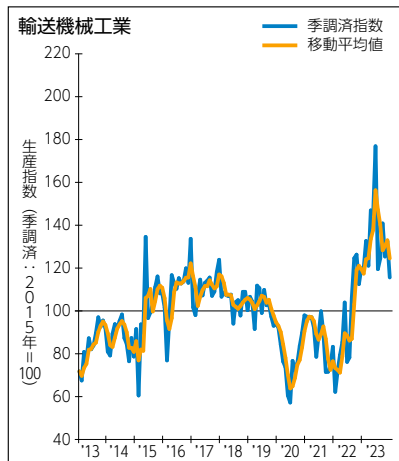
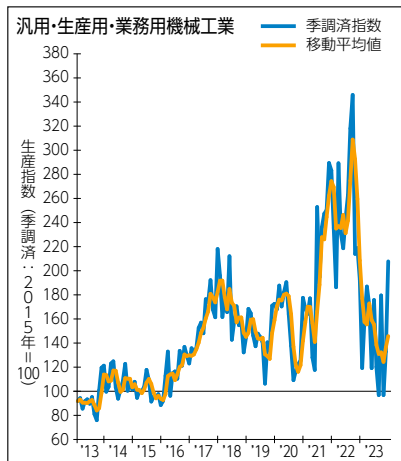
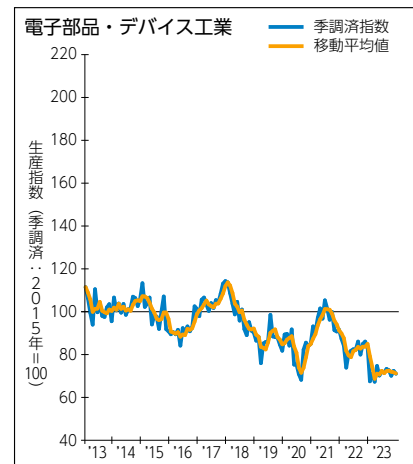
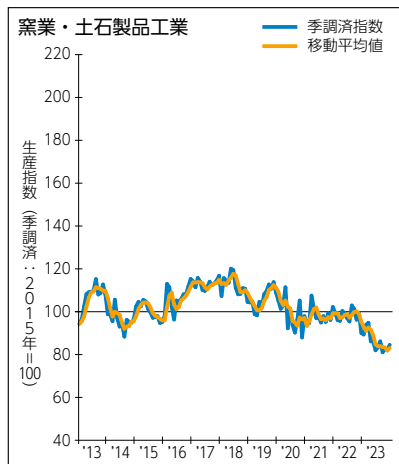
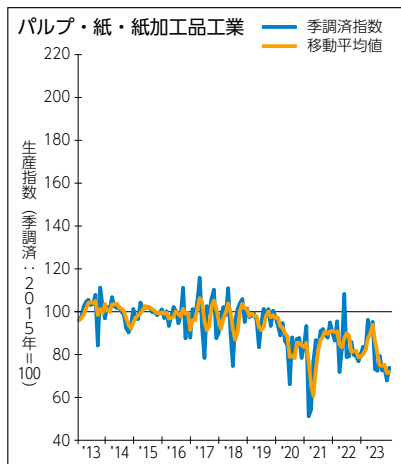
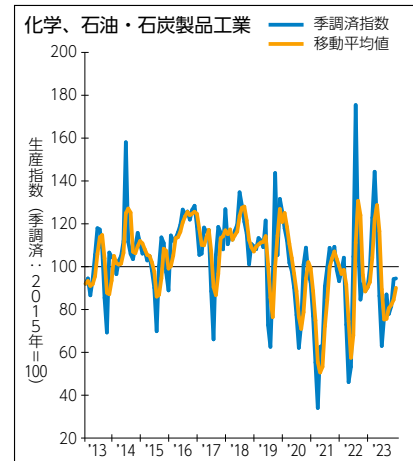


鉱工業生産指数 (宮城県・東北2015年=100、全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

	2023年10月	11月	12月
宮城県	86.1	89.7	99.6
(前年比)	▲ 30.1	▲ 29.7	▲ 5.5
東北	97.1	94.6	101.3
(前年比)	▲ 5.1	▲ 10.1	▲ 2.8
全国	104.9	104.0	105.5
(前年比)	1.1	▲ 1.4	▲ 1.0

主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2023年10月	11月	12月
化学、石油・石炭製品工業	81.5	94.2	94.5
(前年比)	▲ 12.3	6.3	5.8
パルプ・紙・紙加工品工業	73.5	67.8	73.8
(前年比)	▲ 8.7	▲ 11.8	▲ 6.8
窯業・土石製品工業	82.6	81.9	84.5
(前年比)	▲ 12.2	▲ 17.7	▲ 8.2
電子部品・デバイス工業	70.0	72.3	70.9
(前年比)	▲ 15.4	▲ 15.9	▲ 17.6
汎用・生産用・業務用機械工業	96.6	132.8	207.8
(前年比)	▲ 52.4	▲ 39.3	2.2
輸送機械工業	125.4	132.6	115.6
(前年比)	1.3	17.8	▲ 5.4
食料品工業	102.9	101.9	110.9
(前年比)	▲ 54.9	▲ 58.2	▲ 2.9



建設動向

公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は総じて水準は低下基調となっている。

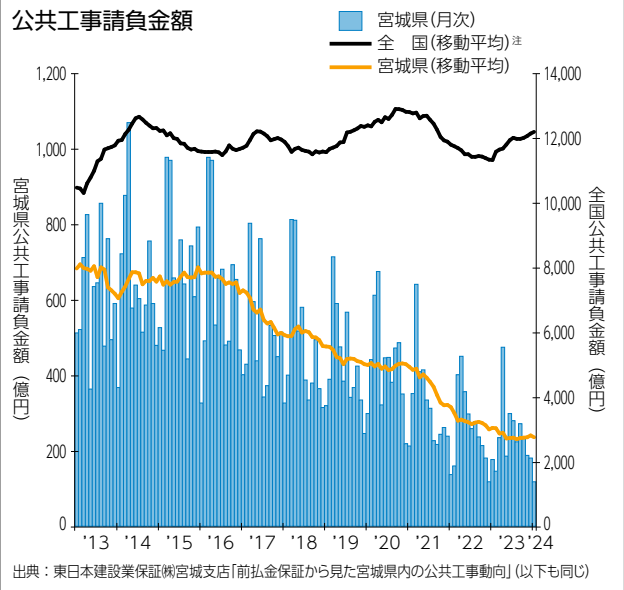
公共工事

1月の公共工事請負金額は、前年同月比33.4%減の118億円となり、5カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、国の機関では、同23.7%減の13億円と前年を下回った。

一方、地方の機関は、県が同23.8%減の52億円、市町村等は同42.4%減の52億円となり、全体で同34.4%減の104億円と前年を下回った。

また、震災前の2010年1月の請負金額（99億円）と比べた水準は18.5%増となっている。

公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	4.1	54.3	▲ 33.4
国の機関	72.0	2.5倍	▲ 23.7
県	17.8	6.3	▲ 23.8
市町村等	▲ 7.6	86.0	▲ 42.4
全国	9.9	14.5	12.7

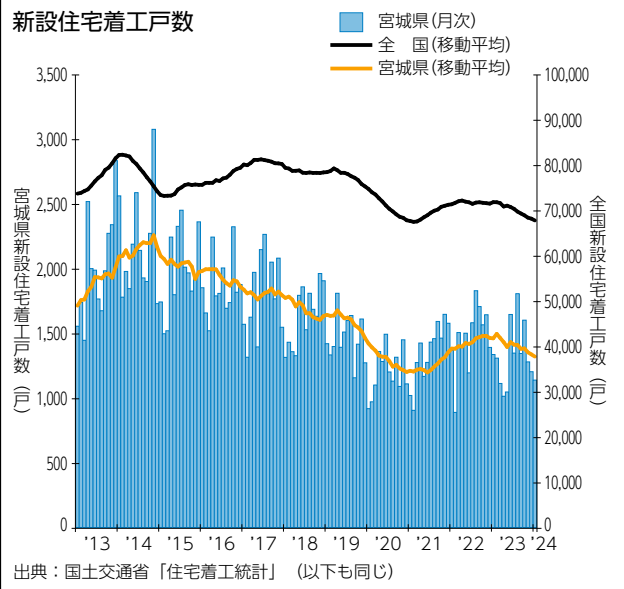
住宅建設

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.8%減の1,141戸(全国7.5%減、58,849戸)となり、3カ月連続して前年を下回っている。

利用関係別にみると、貸家が同0.3%増(582戸)と前年を上回ったが、持家が同20.4%減(250戸)、分譲が同30.8%減(306戸)と前年を下回った。

また、震災前の2010年1月の着工戸数(1,136戸)と比べた水準は0.4%増となっている。

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	▲ 22.2	▲ 13.5	▲ 14.8
持家	▲ 17.9	▲ 15.7	▲ 20.4
貸家	▲ 25.8	▲ 2.3	0.3
分譲	▲ 14.5	▲ 36.5	▲ 30.8
全国	▲ 8.5	▲ 4.0	▲ 7.5

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

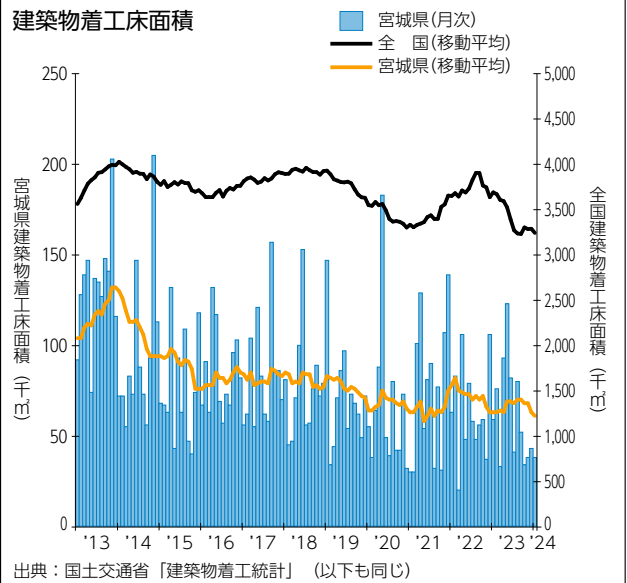
	2023年11月	12月	2024年1月
市部	▲ 26.7	▲ 23.5	▲ 15.6
うち仙台市	▲ 28.4	▲ 20.9	▲ 5.8
うち仙台市以外	▲ 22.6	▲ 30.0	▲ 35.7
郡部	18.0	54.7	▲ 6.1

建築物着工

1月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比35.9%減の38千㎡、工事費予定額は同41.0%減の91億円となり、床面積、工事費予定額とも前月に引続き前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、事務所（4千㎡：前年同月比70.3%減）などが前年を下回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	4.5	▲ 59.2	▲ 35.9
事務所	54.6	▲ 59.5	▲ 70.3
店舗	▲ 67.9	1.4	▲ 2.7
工場	23.0	▲ 99.3	3.5倍
倉庫	▲ 0.6	▲ 17.8	8.4
その他	▲ 7.7	▲ 33.8	▲ 87.0
全国	▲ 6.6	0.8	▲ 15.3

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	16.8	▲ 54.0	▲ 41.0
事務所	56.1	▲ 63.8	▲ 70.5
店舗	▲ 3.3	▲ 36.2	14.1
工場	▲ 3.7	▲ 99.1	7.1倍
倉庫	1.1	19.6	▲ 6.0
その他	27.0	▲ 22.0	▲ 89.4
全国	8.4	44.3	15.4

消費動向

宮城県消費動向指数は横ばい圏内で推移しており、小売業主要業態販売は持ち直しの動きが鈍化している。乗用車新車販売は強い下押しにより減少している。

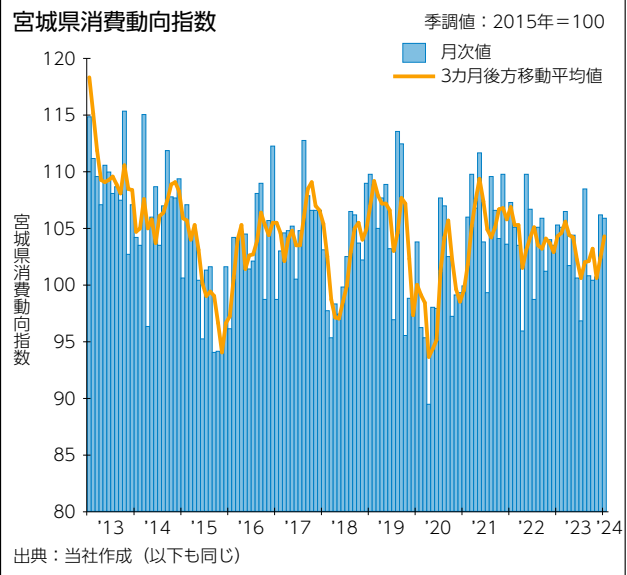
消費動向指数

1月の宮城県消費動向指数は、前月比0.3ポイント低下の106.0となり、3カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「被服・履物」「教養娯楽」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比1.9ポイント上昇の104.4となった。

宮城県消費動向指数



宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2023年11月	12月	2024年1月
消費動向指数	100.8	106.3	106.0
家賃指数	110.4	110.4	110.7
乗用車販売指数	92.8	97.7	67.7
コア消費支出指数	110.3	115.3	121.0

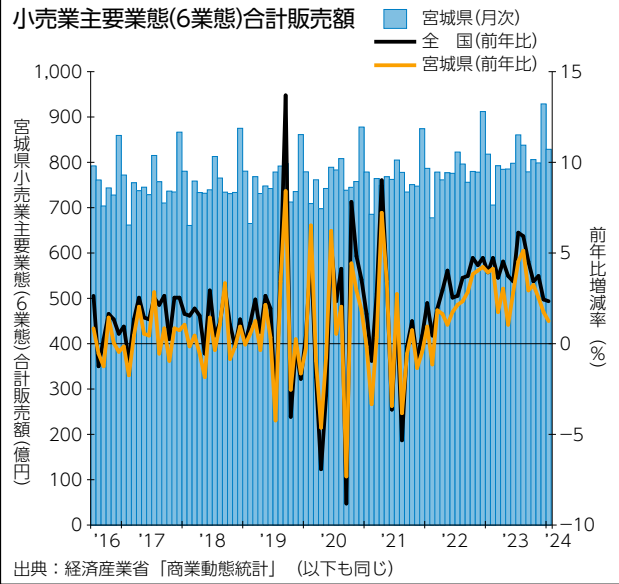
※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

1月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比1.3%増の833億円(全国2.4%増、4兆1,719億円)となり、23カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同2.9%増の358億円(全国3.3%増)となり、14カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同0.1%減の193億円(全国1.6%増)となり、23カ月ぶりに前年を下回った。家電大型専門店は同5.1%減の82億円(全国5.8%減)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは同6.1%増の148億円(全国7.4%増)となり、34カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同6.3%減の51億円(全国0.4%減)となり、前月に引続き前年を下回っている。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

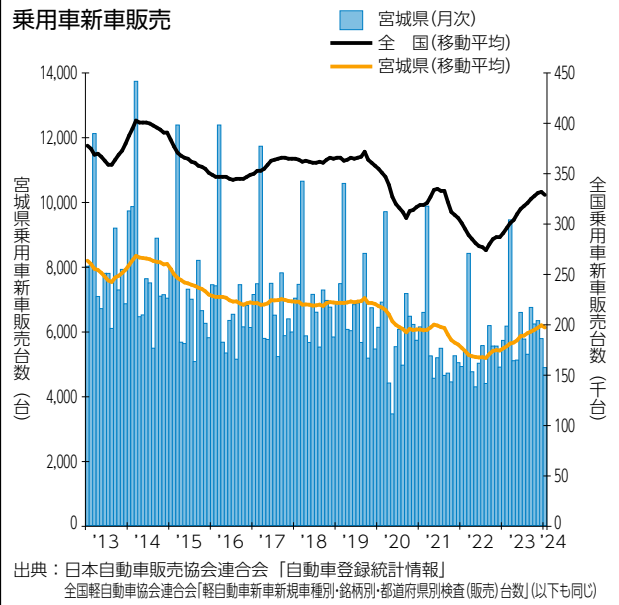
	2023年11月	12月	2024年1月
6業態合計(宮城県)	2.6	1.8	1.3
百貨店・スーパー	3.9	2.5	2.9
コンビニエンスストア	0.1	0.3	▲ 0.1
家電大型専門店	▲ 6.8	1.8	▲ 5.1
ドラッグストア	8.4	5.3	6.1
ホームセンター	0.5	▲ 4.3	▲ 6.3
6業態合計(全国)	3.8	2.5	2.4

注) 全店ベース

乗用車新車販売

1月の乗用車新車販売台数は、前年同月比14.7%減(全国10.8%減)の4,890台となり、13カ月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、同3.8%増(全国5.3%増)の2,052台となり、13カ月連続して前年を上回っている。小型車は、同26.5%減(全国22.0%減)の1,166台となり、2カ月ぶりに前年を下回った。また、軽乗用車は、同22.9%減(全国21.6%減)の1,672台となり、4カ月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車販売



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

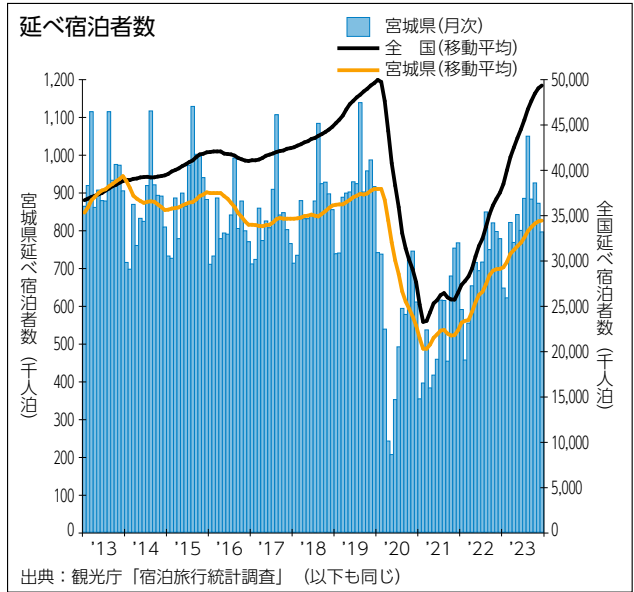
	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	14.2	18.0	▲ 14.7
普通車	38.3	28.7	3.8
小型車	▲ 7.5	1.8	▲ 26.5
軽乗用車	9.3	19.0	▲ 22.9
全国	11.7	6.1	▲ 10.8

観光動向

12月の延べ宿泊者数は、前年同月比2.4%増の797千人泊となり、26カ月連続して前年を上回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同12.8%減の247千人泊と5カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同3.4%増の485千人泊と21カ月連続して前年を上回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同3.5倍の54千人泊となり、17カ月連続して前年を上回っている。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2023年10月	11月	12月
宮城県	927	873	797
うち県内客	204	216	247
うち県外客	638	580	485
うち外国人	72	55	54
全国	53,778	52,919	50,735
うち外国人	12,259	11,886	12,303

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

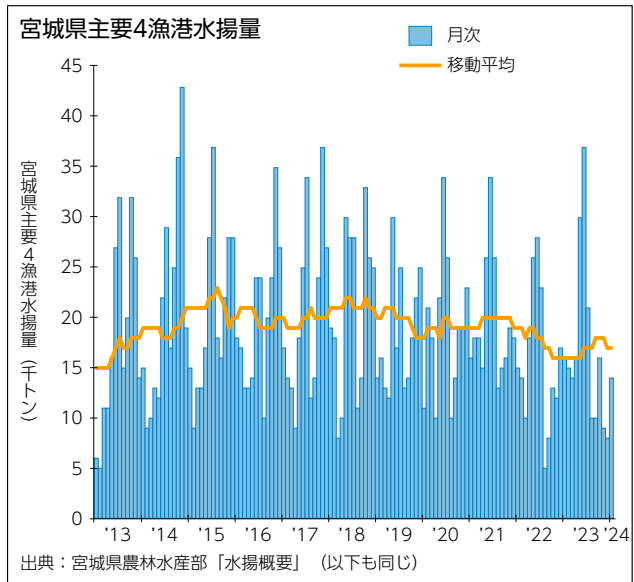
	2023年10月	11月	12月
宮城県	12.9	9.3	2.4
うち県内客	▲ 12.7	▲ 7.3	▲ 12.8
うち県外客	14.0	12.8	3.4
うち外国人	7.4倍	4.5倍	3.5倍
全国	22.0	15.5	7.8
うち外国人	5.9倍	3.1倍	2.1倍

水産動向

1月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比12.0%減の14千トン、金額が同20.3%減の31億円となり、数量は3カ月連続して、金額は前月に引続き前年を下回っている。

魚種別にみると、数量、金額ともサバなどが減少した。

漁港別にみると、数量は塩釜が前年を上回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を下回った。金額は塩釜、女川が前年を上回ったが、石巻、気仙沼が前年を下回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
合計	▲ 23.2	▲ 52.7	▲ 12.0
塩釜	▲ 15.6	▲ 17.1	3.6倍
石巻	▲ 29.1	▲ 64.1	▲ 21.2
気仙沼	▲ 23.5	▲ 51.4	▲ 8.5
女川	8.9	▲ 50.1	▲ 26.5

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
合計	9.1	▲ 23.7	▲ 20.3
塩釜	32.8	19.2	49.8
石巻	4.6	▲ 46.4	▲ 42.5
気仙沼	0.5	▲ 18.4	▲ 27.4
女川	3.7	▲ 32.7	2.0

貿易動向

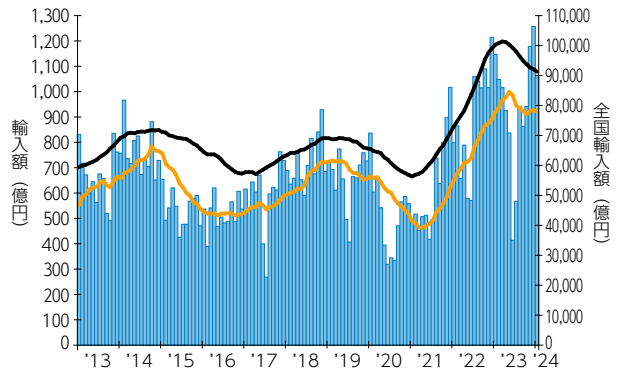
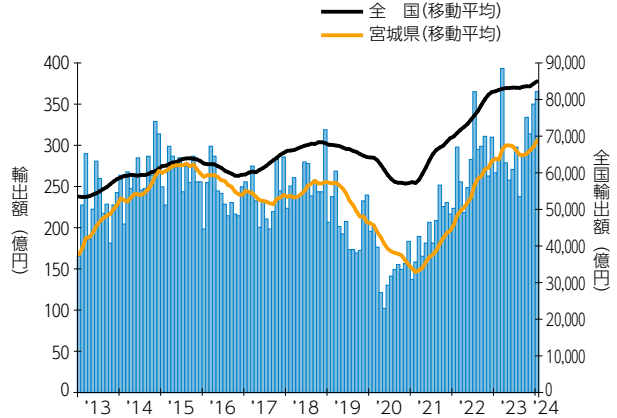
1月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比36.8%増の364億円、輸入が同7.8%減の1,054億円となった。

輸出は石油製品が増加したことなどから4カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は液化天然ガスが減少したことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	輸出	19.5	12.9	36.8
	輸入	16.0	3.6	▲ 7.8
全国	輸出	▲ 0.2	9.7	11.9
	輸入	▲ 11.8	▲ 6.9	▲ 9.6

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」(以下も同じ)

物価動向

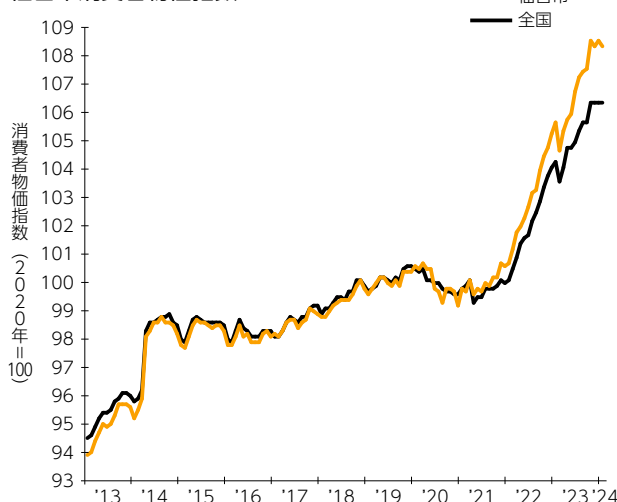
1月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比2.6%上昇の108.4となり31カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
生鮮食品を除く食料	7.9	6.9	6.7
住居	1.7	1.6	1.7
光熱・水道	▲ 9.1	▲ 12.4	▲ 12.5
家具・家事用品	3.8	6.1	4.0
被服および履物	3.5	6.2	6.1
保健医療	3.6	3.6	3.6
交通・通信	3.3	3.8	3.7
教育	0.3	0.3	0.4
教養娯楽	9.2	9.6	6.4
諸雑費	1.5	1.5	1.3

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」(以下も同じ)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

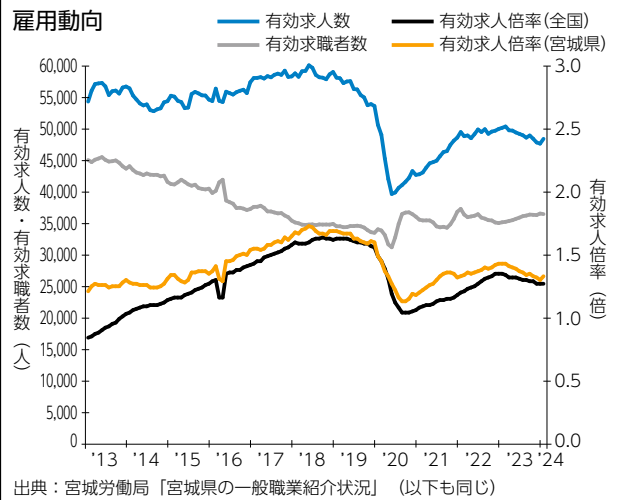
	2023年11月	12月	2024年1月
仙台市	3.4	3.1	2.6
全国	2.5	2.3	2.0

雇用動向 雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

1月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人者数が増加したことなどから、前月比0.03ポイント上昇の1.33倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて建設業、製造業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.62倍）、築館（1.60倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.70倍）、塩釜（0.90倍）などは1倍を下回っている。



有効求人倍率等 (倍、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
有効求人倍率(宮城県)	1.32	1.30	1.33
(全国)	1.27	1.27	1.27
新規求人(前年比)(宮城県)	▲ 7.2	▲ 0.7	▲ 5.9

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

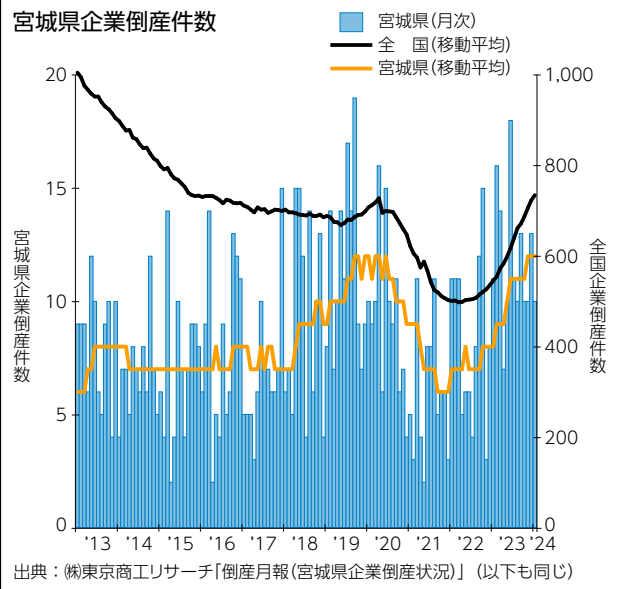
	2023年11月	12月	2024年1月
気仙沼	1.19	1.32	1.27
石巻	1.47	1.54	1.59
塩釜	0.78	0.85	0.90
仙台	1.56	1.60	1.62
大和	1.51	1.59	1.58
古川	1.12	1.22	1.20
築館	1.51	1.56	1.60
迫	0.93	0.99	0.97
大河原	0.68	0.73	0.70
白石	1.45	1.32	1.28

倒産動向 1月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比9.1%減の10件、負債額では同2.0倍の24億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が5件、製造業が3件などとなっている。

主因別では、販売不振が9件、放漫経営が1件となっている。

地域別では、仙台市が5件、塩釜市が2件などとなっている。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

		2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	件数	10	13	10
	負債額	2,416	978	2,376
全国	件数	807	810	701
	負債額	94,871	103,228	79,123

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

		2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	件数	3.3倍	62.5	▲ 9.1
	負債額	▲ 69.0	2.2倍	2.0倍
全国	件数	38.9	33.7	23.0
	負債額	▲ 17.9	30.4	40.0

人口動向

2月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比14,933人減の225万8,481人となり、34カ月連続して前年を下回っている。

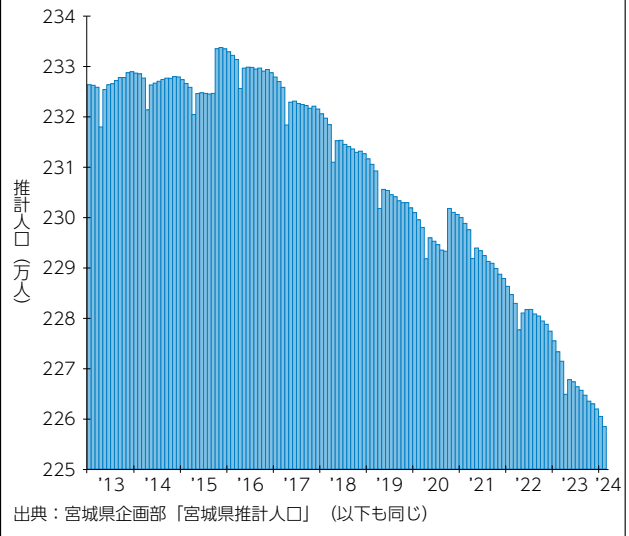
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,090人減、社会増減は1,157人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（64人増）、富谷市（59人増）の2市、減少したのは石巻市（2,149人減）、大崎市（1,657人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では8万8,372人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（5万295人増）、名取市（5,264人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万7,005人減）、気仙沼市（1万6,108人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



宮城県人口

	2023年12月	2024年1月	2月
総人口	2,262,002	2,260,508	2,258,481
自然増減	▲ 1,408	▲ 1,564	▲ 1,870
社会増減	397	70	▲ 157

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

	2011年3月	2023年2月	2024年2月	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月	2023年2月	2024年2月	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
	①	②	③				①	②	③		
宮城県	2,346,853	2,273,414	2,258,481	▲ 14,933	▲ 88,372	村田町	11,939	10,252	10,083	▲ 169	▲ 1,856
仙台市	1,046,737	1,098,156	1,097,032	▲ 1,124	50,295	柴田町	39,243	37,584	37,398	▲ 186	▲ 1,845
石巻市	160,394	135,538	133,389	▲ 2,149	▲ 27,005	川崎町	9,919	8,012	7,849	▲ 163	▲ 2,070
塩釜市	56,221	51,000	50,604	▲ 396	▲ 5,617	丸森町	15,362	11,402	11,139	▲ 263	▲ 4,223
気仙沼市	73,154	58,337	57,046	▲ 1,291	▲ 16,108	亘理町	34,795	32,840	32,680	▲ 160	▲ 2,115
白石市	37,273	31,429	30,722	▲ 707	▲ 6,551	山元町	16,608	11,674	11,525	▲ 149	▲ 5,083
名取市	73,603	78,803	78,867	64	5,264	松島町	15,014	12,896	12,643	▲ 253	▲ 2,371
角田市	31,188	26,894	26,538	▲ 356	▲ 4,650	七ヶ浜町	20,353	17,618	17,383	▲ 235	▲ 2,970
多賀城市	62,990	62,653	62,534	▲ 119	▲ 456	利府町	34,279	35,139	35,078	▲ 61	799
岩沼市	44,160	43,687	43,534	▲ 153	▲ 626	大和町	25,366	28,642	28,458	▲ 184	3,092
登米市	83,691	73,157	71,712	▲ 1,445	▲ 11,979	大郷町	8,871	7,587	7,433	▲ 154	▲ 1,438
栗原市	74,474	61,650	60,294	▲ 1,356	▲ 14,180	大衡村	5,361	5,586	5,508	▲ 78	147
東松島市	42,840	38,382	37,858	▲ 524	▲ 4,982	色麻町	7,406	6,403	6,267	▲ 136	▲ 1,139
大崎市	134,950	124,085	122,428	▲ 1,657	▲ 12,522	加美町	25,421	21,018	20,668	▲ 350	▲ 4,753
富谷市	47,501	51,566	51,625	59	4,124	涌谷町	17,399	14,666	14,351	▲ 315	▲ 3,048
蔵王町	12,847	10,949	10,746	▲ 203	▲ 2,101	美里町	25,055	23,235	22,911	▲ 324	▲ 2,144
七ヶ宿町	1,664	1,199	1,175	▲ 24	▲ 489	女川町	9,932	6,131	6,053	▲ 78	▲ 3,879
大河原町	23,465	23,547	23,454	▲ 93	▲ 11	南三陸町	17,378	11,697	11,496	▲ 201	▲ 5,882

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数